



# 製品概要

---

この章では、Cisco Global Site Selector 4492R (GSS) の基本機能の概要と、ハードウェア、主なコンポーネント、前面および背面パネルのインジケータとコントロールについて説明します。

この章の内容は、次のとおりです。

- [はじめに](#)
- [システム ハードウェアの特長](#)
- [ポートおよびコネクタ](#)

## はじめに

GSS は、サイト選択サービスを提供するネットワーク製品であり、インターネットおよびイントラネット データ センターを含めた環境で障害回復を行う上で重要な役割を果たします。GSS は、次のような SLB (サーバロード バランサ) によって管理されている、地理的に分散されたデータ センター間でトラフィックをグローバルに負荷分散します。

- Cisco CSS 11500、CSS 11000、または CSS 11150
- Catalyst 6500 シリーズ スイッチ用の Cisco コンテンツ スイッチング モジュール (CSM)
- Cisco LocalDirector
- Cisco IOS SLB

GSS は、このような分散型の構成における障害回復のための基盤となり、問題が発生した場合、すみやかにスタンバイ データ センターへユーザ トラフィックをルーティングすることによって、グローバル インターネットおよびイントラネット アプリケーションを高い信頼性で展開できるようにします。

GSS は、ネットワークの戦略的な拠点に配置します。GSS を他の SLB とともに配置した場合、GSS は主に次の 2 つの機能を実行します。

- Domain Name Server (DNS; ドメイン ネーム サーバ) インフラストラクチャで能動的な役割を果たし、要求された Web サイトをサポートする SLB にクライアントを接続します。
- ネットワーク上の SLB の負荷およびアベイラビリティを継続的に監視し、各クライアント要求に対応するために最適な SLB を選択します。

GSS は従来の DNS サーバから DNS 解決処理の負荷を軽減することにより、グローバルなサイト選択を最適化し、DNS の機能性を向上させます。GSS は、負荷およびアベイラビリティを監視することにより、大規模な Web サイトおよびデータ センターの耐障害性およびスケーラビリティを強化します。

## システム ハードウェアの特長

GSS 4492R は、AC 入力電源を使用する設計になっており、AC 入力電源装置を 1 つ搭載しています。GSS 4492R には、次のコンポーネントが搭載されています。

- インテル 3.4 GHz Pentium D CPU
- 80 GB SATA ハード ドライブ、7,200 RPM
- DVD-ROM ドライブ
- 内蔵デュアルポート イーサネット コントローラ。10 Mbps、100 Mbps、または 1000 Mbps ネットワークへの接続のためのインターフェイスを提供します。RJ-45 レセプタクル付きの 10BASE-T/100BASE-TX/1000BASE-TX イーサネット ポートが 2 つあります。
- シリアル ポート

イーサネット ポートは両方とも、イーサネット LAN 上で、自動ネゴシエーション、全二重または半二重動作をサポートします。

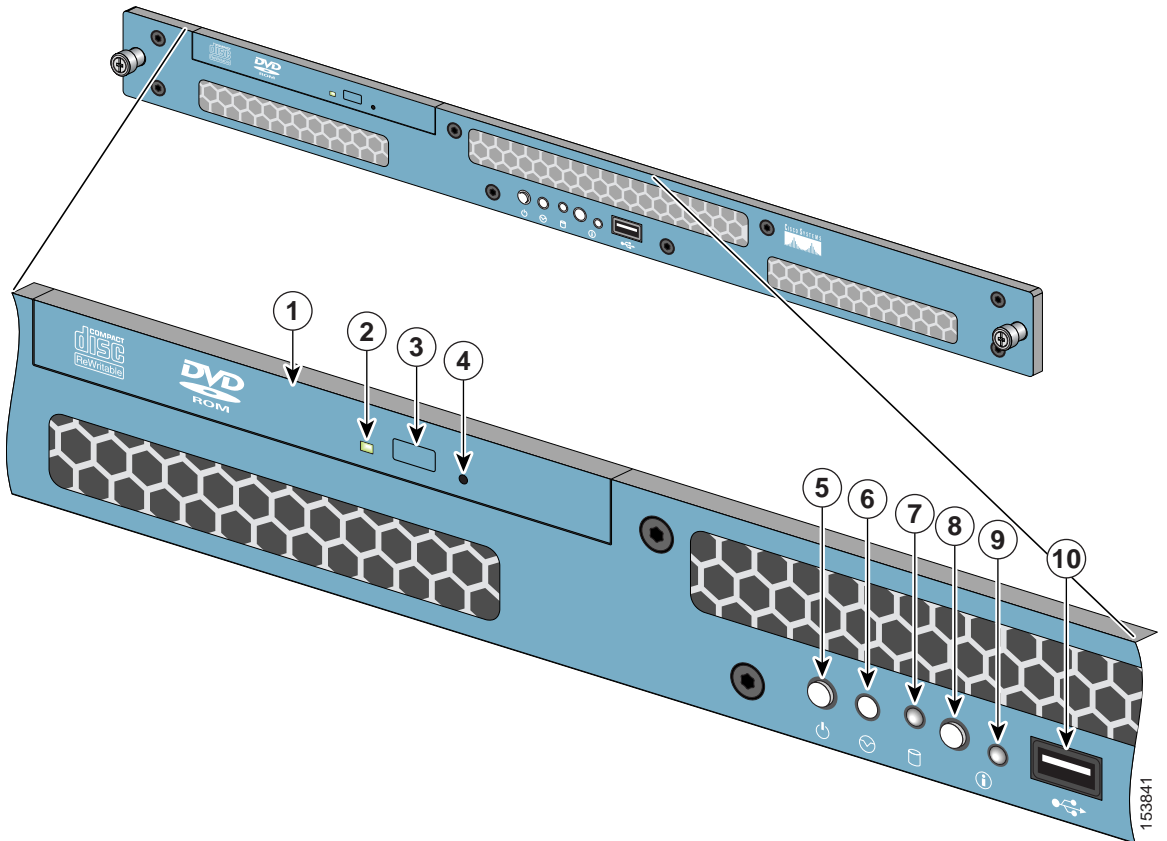
この項の構成は次のとおりです。

- [前面パネルの特長](#)
- [背面パネルの特長](#)

## 前面パネルの特長

GSS 4492R の前面パネルには、LED インジケータと電源ボタン、および DVD-ROM ドライブがあります。図 1-1 に、GSS 4492R の前面パネルを示します。

図 1-1 前面パネル

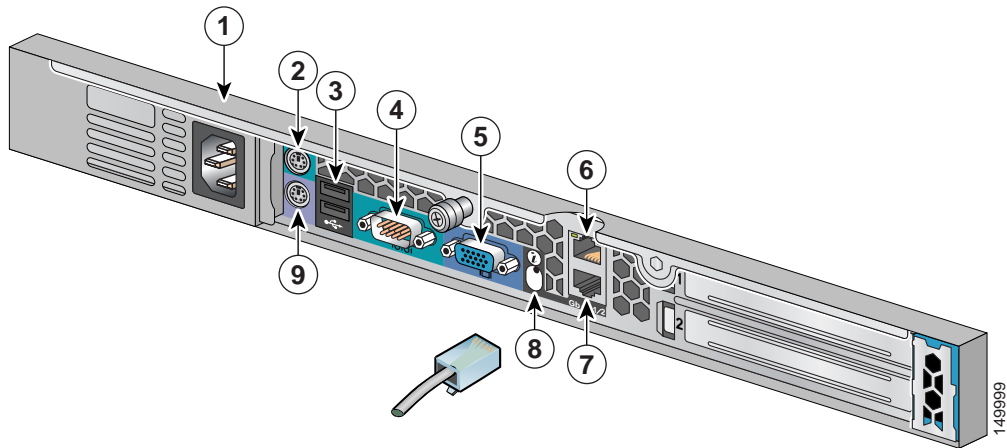


1	DVD-ROM ドライブ	8	システム ID ボタン。ラックにこの装置を含む多数の機器が搭載されている場合、このボタンを使用すると、背面側から装置の位置を確認できます。システム ID ボタンを押すと、装置の前面パネルと背面パネルでブルーのシステム ID インジケータが点滅します。
2	DVD-ROM 動作インジケータ		背面パネルのブルーのインジケータを点滅させるには、前面パネルのシステム ID ボタンを押します。点滅しているインジケータを消灯させるには、背面パネルのシステム ID ボタンを押します。
3	DVD-ROM イジェクト ボタン		
4	DVD-ROM 緊急イジェクト ボタン		
5	電源ボタン。電源インジケータが組み込まれています。インジケータが点灯している場合、シャーシの電源を切るにはこのボタンを押します。 グリーン = 電源オン オレンジ = スタンバイ モード 消灯 = 電源オフ	9	システム ID インジケータ。前面パネルまたは背面パネルのシステム ID ボタンを押すと、ブルーで点滅します。インジケータを消灯させるには、システム ID ボタンをもう一度押します。
6	NMI (Non Maskable Interrupt) ボタン。このボタンは埋め込まれており、通常動作時に、このプッシュ ボタンを使用して NMI を発生させる必要はありません。このボタンは、デバッグに使用します。	10	USB ポート (サポートされていません)
7	ハードドライブの使用中は、ハードドライブインジケータが点滅します。		

## 背面パネルの特長

背面パネルには、AC 電源レセプタクル、イーサネット コネクタ、およびコンソール / シリアル コネクタがあります。図 1-2 に、背面パネルのポートとコネクタを示します。

図 1-2 背面パネル



1	AC 電源レセプタクル	8	システム ID ボタン/システム ステータス インジケータ。ラックにこの装置を含む多数の機器が搭載されている場合、このボタン/インジケータを使用して、前面側から装置の位置を確認できます。システム ID ボタンを押すと、装置の前面パネルと背面パネルでブルーのシステム ID インジケータが点滅します。
2	PS/2 マウス ポート (サポートされていません)	9	PS/2 キーボード ポート (サポートされていません)
3	USB ポート (サポートされていません)		
4	コンソール / シリアル コネクタ (図 1-4 を参照)		
5	VGA ポート (サポートされていません)		
6	RJ-45 イーサネット 0 コネクタ。10/100/1000 Mbps 動作 LED とステータス LED が付属しています。		前面パネルのブルーのインジケータを点滅させるには、背面パネルのシステム ID ボタンを押します。点滅しているインジケータを消灯させるには、前面パネルのシステム ID ボタンを押します。
7	RJ-45 イーサネット 1 コネクタ。10/100/1000 Mbps 動作		

## ポートおよびコネクタ

GSS 4492R は、シャーシの背面側で次のポート コネクタをサポートします。

- イーサネット コネクタ
- コンソール ポート



**警告**

感電を防止するために、電話ネットワーク電圧 (TNV) 回線に安全超低電圧 (SELV) 回線を接続しないでください。LAN ポートには SELV 回線、WAN ポートには TNV 回線が含まれています。一部の LAN ポートと WAN ポートは、RJ-45 コネクタを使用しています。ケーブルを接続するときは、注意してください。警告文 1021

### イーサネット コネクタ

GSS 4492R には、内蔵 10/100/1000 Mbps イーサネット コネクタが 2 つ付いています。イーサネット コントローラは、10 Mbps、100 Mbps、または 1000 Mbps ネットワークへの接続のためのインターフェイスを提供し、イーサネット LAN 上で自動ネゴシエーション、全二重または半二重動作をサポートします。

イーサネット ポートにアクセスするには、カテゴリ 3、4、または 5 の Unshielded Twisted-Pair (UTP; シールドなしツイストペア) ケーブルを、シャーシの背面にある RJ-45 コネクタに接続します。



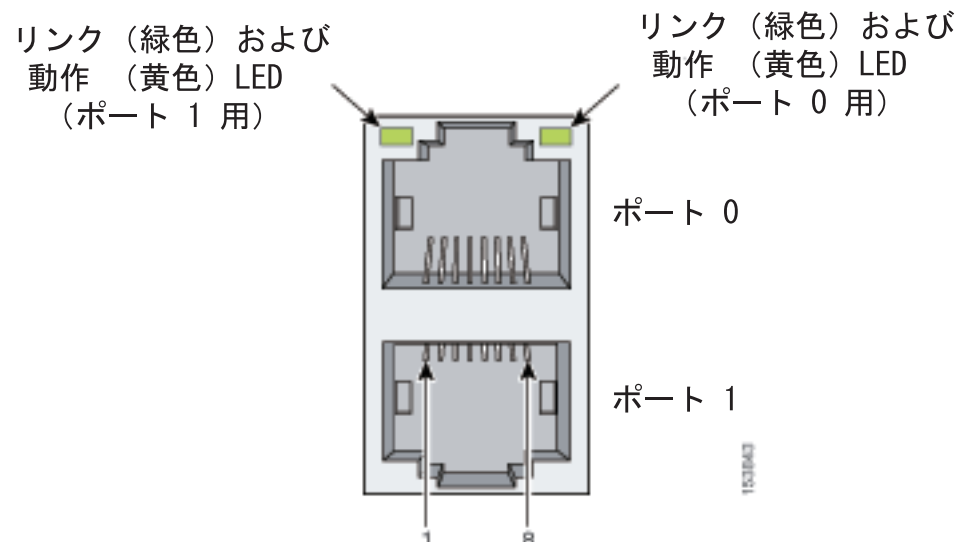
**(注)**

100BASE-TX/1000BASE-TX イーサネット規格では、標準的な 4 ツイストペア、カテゴリ 5e ケーブルを、最大距離 100m で使用するよう決められています。

図 1-3 に、イーサネット ポートの LED インジケータとイーサネット 1 RJ-45 ポートのピン番号の割り当てを示します。ポート 0 のピン番号の割り当ては逆になります。

イーサネット ポートの左上にある LED は、下側のイーサネット 1 ポートのインジケータです。この LED は、イーサネット リンクが接続されている状態ではグリーンで点灯し、ネットワーク動作が行われている状態ではイエローで点滅します。右上の LED は、上側にあるイーサネット 0 ポートのインジケータです。

図 1-3 イーサネット ポートのコネクタ



## コンソールポート

GSS 4492R の背面パネルには、コンソールポートとして使用される、RS-232 シリアルポートが 1 つあります。内蔵シリアルポートは、9 ピンオス型 D シェルコネクタを使用します。図 1-4 に、9 ピンポートのピン番号の割り当てを示します。

コンソールポートコネクタのピン配列については、表 1-1 を参照してください。

図 1-4 コンソールポートコネクタのピン番号

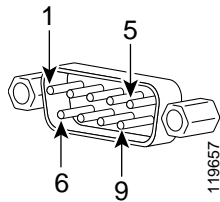


表 1-1 コンソールポートコネクタのピン配列

ピン	信号	I/O	定義
1	DCD	I	データ キャリア検出
2	SIN	I	シリアル入力
3	SOUT	O	シリアル出力
4	DTR	O	データターミナルレディ
5	GND	なし	信号アース
6	DSR	I	データセットレディ
7	RTS	O	送信要求
8	CTS	I	クリアツーセンド
9	RI	I	リングインジケータ
シェル	なし	なし	シャーシのアース

コンソールポートは、表 1-2 に示す設定で動作します。この表の設定をユーザが変更することはできません。

表 1-2 GSS 4492R コンソールポートの設定

パラメータ	設定
ボーレート	9600
データビット	8
パリティ	なし
ストップビット	1
端末タイプ	VT100/ANSI
フロー制御	なし

## RJ-45 - DB-9 または RJ-45 - DB-25 アダプタ

表 1-3 に、RJ-45 - DB-9 または RJ-45 - DB-25 アダプタへのケーブル ピン割り当てを示します。ロール型 RJ-45 ケーブルをコンソール シリアル ポートに接続するには、DB-9 アダプタを使用します。ロール型 RJ-45 ケーブルのもう一方の端を PC または端末のシリアル ポートに接続するには、DB-9 または DB-25 アダプタを使用します。

表 1-3 RJ-45 から DB-9 または DB-25 へのケーブル ピン割り当て

信号	RJ-45 のピン	DB-9 または DB-25 のピン
RTS	8	8
DTR	7	6
TxD	6	2
GND	5	5
GND	4	5
RxD	3	3
DSR	2	4
CTS	1	7

